

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	触松社会教育会館管理運営			事業番号	038-069
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	
		有	取組	生涯を通じた学びの支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	昭和 63 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■堺市立触松社会教育会館条例、堺市立触松社会教育会館管理運営規則、 ■堺市立触松社会教育会館使用料規則 						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■会館の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等(約83万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、同和問題をはじめあらゆる人権問題の速やかな解決をめざし、文化活動を通して市民の教養と文化の向上に資することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	■触松社会教育会館の維持管理及び会議室・和室の貸室
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■公益財団法人 堺市就労支援協会
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 会館受付件数	件	目標値	95	80	80		
		実績値	78	72			
		達成率	82%	90%			
当該指標を選定した理由		■数値化できる利用状況を見る指標として受付件数が適当であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		■従来の利用状況を元に設定。令和3年度緊急事態宣言発出による休館期間を勘案。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 貸室利用人数	人	目標値	1,120	930	930		
		実績値	880	835			
		達成率	79%	90%			
当該指標を選定した理由		■利用目的別の状況の整理もしているが、数値化できるものとして利用人数が成果の一つとして考えられるため					
目標値の設定根拠・算出方法		■従来の利用状況を元に設定。令和3年度においては緊急事態宣言発出による休館期間を勘案して設定					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	舂松社会教育会館管理運営	事業番号	038-069
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費 (a)	1,165	1,174	1,194	1,213	1,177
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	35	33	39	30	36
	一般財源	1,130	1,141	1,155	1,183	1,141
14	人件費 (b)	820	810	820	820	820
15	年間経費(c)=(a)+(b)	1,985	1,984	2,014	2,033	1,997

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	電気使用料	R2	決算	178	148	清掃業務	R2	決算	229	229
		R3	予算	183	147		R3	予算	218	218
	水道使用料	R2	決算	6	6	機械警備業務	R2	決算	65	65
		R3	予算	8	8		R3	予算	65	65
	ガス使用料	R2	決算	3	3	受水槽清掃業務	R2	決算	12	12
		R3	予算	3	3		R3	予算	12	12
手数料	R2	決算	18	18	受付及び使用料徴収業務	R2	決算	445	445	
	R3	予算	18	18		R3	予算	445	445	
エレベータ設備保守点検業務	R2	決算	181	181	その他	R2	決算	76	76	
	R3	予算	182	182		R3	予算	43	43	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		①	78
②	千円	1,984	2,033
③	円/単位	25,436	28,236
備考 (算出についての説明等)		—	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度4月8日から5月31日までを休館とした影響により、受付件数が減少した。 ■ 単位当たりの経費は高く見えるが、施設の維持管理にかかる費用が大部分を占め、貸館の事業を止めたとしてもかかる費用が大幅に減になることはない。
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> ■ 会館は地域住民により、外国語会話のグループ学習、芸術作品の作成等の活動を目的として利用されており、利用者の教養と文化の向上に貢献しているとともに、地元自治会の全体会議の利用にも供され、地域の繋がりを深めることに資するものとなっており、人権問題の解消にも寄与する重要なものの一つと考えられる。
----	---